

令和4年度 事業報告

公益財団法人 ちば国際コンベンションビューロー



I 事業概要

1 MICE事業部門

令和4年度に入り、国内の行動制限や、入国の際の水際対策が大幅に緩和されたことに伴い、ハイブリッド形式を含むMICEの開催が徐々に増え、令和4年度に予定されていたJNTO基準の国際会議33件のうち12件（リアル開催5件、ハイブリッド開催7件）が開催され、MICEを取り巻く環境にも明るい兆しが見えてきた。

このような状況のなか、ポストコロナに向け、MICEの県内開催・誘致が実現できるよう、本県が有するMICE施設の特徴や優位性、ユニークベニユー(*5)や観光資源を紹介するとともに、誘致効果が高い海外でのリアル商談会にも積極的に参加し、現地主催者・旅行会社とのネットワークの維持・強化を図った。

また、県内の大学や研究機関、ランドオペレーター等の国内関係者との関係強化と情報発信の強化に注力するとともに、国内参加者のみのMICEへの取組も引き続き強化し、現地参加者の満足度の向上につながる支援を実施した。

2 国際交流部門

令和3年3月に、県が「千葉県地域日本語教育推進事業プラン」を策定したことから、令和3年度に県から新たに地域日本語教育推進事業の委託を受け、日本語学習支援者を対象に基礎講座やフォローアップ講座等を開催してきたが、令和4年度はさらに地域の日本語教室に助言・指導を行う「地域日本語教育コーディネーター」を設置した。

また、外国人相談においては、特に新型コロナウイルス感染症に関連した各種給付金、失業、生活困窮、帰国困難等の相談が多く寄せられ、多言語で対応した。新型コロナウイルス感染症の症状に関する相談については、県と連携し、地域の発熱外来や外国語対応可能な医療機関等を案内した。また、ウクライナ避難民からの相談にも対応し、在留資格、住居等を案内した。

さらに、会報誌やホームページ、Facebookなどを活用して、当財団の活動報告や在住外国人向けの各種支援や国際交流・協力に関する様々な情報を提供したほか、特に、新型コロナウイルス感染症への対応について、在住外国人や支援者向けに積極的な情報発信に努めた。

Ⅱ 実施事業

1 オール千葉によるMICE誘致・開催支援の実施

(1) MICE誘致の新たな展開

千葉県、国際会議観光都市(*2)（千葉市、成田市、木更津市及び浦安市）、各市町村、地元大学、研究機関、関係団体、賛助会員等との連携を強化し、「オール千葉」として、オンラインやハイブリット型の会議など、新たなMICEに対応した誘致・開催支援活動を展開した。

また、コロナの終息後を見据え、海外とのオンライン商談会や、海外での現地商談会に積極的に取り組むことでネットワークの維持・強化を図った。

また、県内の大学や研究機関、ランドオペレーター等の国内関係者との関係強化と情報発信の強化に注力するとともに、国内参加者のみのMICEへの取組も引き続き強化し、現地参加者の満足度の向上につながる支援を実施した。

ア MICE関連目標数値

【MICE開催件数】 令和4年1月～12月（暦年）

	JNTO(*3) 基準国際会議(*4) (C)	企業会議 (M) インセンティブ旅行 (I) イベント等 (E)	合計
目標	33 件	12 件	45 件
実績	12 件※	3 件	15 件

※内訳：リアル開催 5 件 ハイブリッド開催 7 件

※なお、JNTO基準外の会議は 81 件(リアル開催 30 件、ハイブリッド開催 29 件、オンライン開催 22 件)開催。中止は 3 件。

イ 開催された主なMICE

区分	名 称 () 内は開催方式	開催時期	参加者数		開催場所
			上段	現地	
			下段	オンライン	
C	日本地球惑星科学連合 2022 年大会 (ハイブリッド)	令和 4 年 5 月	3,166		幕張メッセ
			2,360		
C	日本体育・スポーツ・健康学会第 72 回大会 (ハイブリッド)	令和 4 年 8 月	1,503		順天堂大学 さくらキャンパス
			100		

C	第 63 回日本人間ドック学会学術大会 (ハイブリッド)	令和 4 年 9 月	1,526	幕張メッセ
			3,011	
C	第 28 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会 (ハイブリッド)	令和 4 年 9 月	3,000	幕張メッセ
			3,500	
C	第 65 回紙パルプ技術協会年次大会	令和 4 年 10 月	1,050	幕張メッセ
			—	
C	第 77 回日本大腸肛門病学会学術集会	令和 4 年 10 月	2,457	幕張メッセ
			—	
C	第 67 回日本口腔外科学会総会・学術大会 (ハイブリッド)	令和 4 年 11 月	1,808	幕張メッセ
			3,914	
C	第 5 回国際ハロゲン結合シンポジウム (ハイブリッド)	令和 4 年 11 月	120	かずさパーク
			3	
C	第 32 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会 (ハイブリッド)	令和 4 年 11 月	2,502	幕張メッセ
			980	
C	第 45 回日本分子生物学会年会 (ハイブリッド)	令和 4 年 11 月	5,500	幕張メッセ
			1,000	

(2) M I C E 誘致競争力の強化

ア コロナ禍の誘致活動

国内・海外で開催された展示会・商談会・セミナーにオンラインを含めて参加し、M I C E 開催地としての千葉の魅力や千葉県・千葉市国際会議補助金制度及び当財団の支援プログラムや助成金制度等を紹介し、千葉県への誘致に取り組んだ。

また、大学・研究機関等の主催者にはオンラインでの打合せや感染対策を十分に講じた上で訪問を重ね、誘致活動に努めた。

【誘致決定 M I C E 件数】 令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月 (年度) カッコ書き () は昨年度の件数

	JNTO 基準 国際会議	JNTO 基準外 会議 (未定含む)	M. I. E	合計
実績	33 (28) 件	28 (14) 件	4 (0) 件	65 (42) 件

【誘致決定した主なMICE】 すべて Convention

	名 称	開催時期	参加者数	開催場所
C	第 51 回人工心臓と補助循環懇話会学術集会 (AHAC2023)	令和 5 年 2 月	250 名	龍宮城ホテル三日月
	・主催：人工心臓と補助循環懇話会 ・臨床医と工学研究者による英知を結集した研究開発、企業による実用化への挑戦、臨床現場と産業界そして行政の協働による臨床応用、臨床医と臨床工学技士・看護師等の協働による健全な普及を図る学会 ・代表世話人の千葉大学松宮教授より過去から温泉地での開催のため千葉の温泉地で開催したいとの希望があり、龍宮城ホテル三日月を紹介して開催決定となった。			
C	第15回日本Acute Care Surgery学会学術集会	令和5年10月	400名	グランドニッコー東京ベイ舞浜
	・主催：日本 Acute Care Surgery 学会 ・Acute Care Surgery は外傷外科、救急外科、外科的集中治療の 3 つの領域を担当する新たな診療概念。日本初の Acute Care Surgery を専門とする医師を養成する専攻医プログラム ・主催者の千葉大学松原教授より、従来開催してきた幕張周辺ではなく浦安地区で行えば TDR 効果もあり参加者が増えるのではないかの相談があり、舞浜のホテルを紹介してグランドニッコー東京ベイ舞浜に決定した。			
C	第 68 回日本聴覚医学会総会	令和 5 年 10 月	1,000 名	幕張メッセ
	・主催：東邦大学医療センター佐倉病院耳鼻咽喉科 ・聴覚医学に関わる基礎研究、シンポジウムなどが企画され聴覚医学にかかわる基礎研究、臨床の諸問題とその社会的応用についての情報交換を目的とした学会 ・千葉大 OB である大会長から財団への直接問い合わせがあり、会場探しから会場仮押さえまで支援し、決定した。			
C	第6回日本在宅医療連合学会大会	令和6年7月	4,000名	幕張メッセ
	・主催：日本在宅医療連合学会 ・本学会は、2019年に日本在宅医学会と日本在宅医療学会とが合同し、会員数4,000名超の日本最大の在宅医療学術団体として新たに発足。在宅医療の学術的研究と人材の育成を目的とし、特に人々の日常の生活や生き方に焦点をあてた実践的活動を志向する学会 ・千葉市の補助金活用等を提案し開催が決定した。また、当財団の支援により実施したPCOコンペにおいては、会場を熟知した具体的な提案が評価され、(株)幕張メッセがPCOとして決定された。			

	国際ろうガイド会議	令和6年7月	150名	かずさアカデミア パーク
C	・主催：一般社団法人日本国際手話通訳・ガイド協会 ・国際手話通訳ガイドの養成や各国のガイドの情報交換を目的とする世界初第1回会議 ・ろう者や通訳者が参加しやすい会場であることが配慮され決定に至った。			
	第52回日本磁気共鳴医学会大会	令和6年9月	1,900名	幕張メッセ
C	・主催：一般社団法人日本磁気共鳴医学会 ・磁気共鳴（MR）に関する学会で、臨床医学だけでなく、基礎医学、生物学、化学、物理学、工学などの広い範囲にわたっている。 ・大会長である量子科学技術研究開発機構（QST）小畠次長の強い推薦もあり、千葉での開催となった。			
	アジア太平洋肝臓腫瘍学会2024 （APASL）	令和6年10月	1,000名	シェラトン・グランデ・ トーキョーベイ・ホテル
C	・主催：APASL（アジア太平洋肝臓研究協会） ・アジア太平洋地域における肝臓病学の更なる発展と教育を目的とする国際会議 ・2022年主催者より千葉での開催の打診があり、浦安の3ホテルの視察し、最終的にシェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテルを会場として決定。			
	第63回日本臨床細胞学会秋期大会	令和6年11月	2,000名	幕張メッセ
C	・主催：日本臨床細胞学会 ・臨床細胞学・細胞診断学の学術研究とその成果を実地臨床に応用することを推進する専門学会 ・国際医療福祉大学の進教授が大会長になるとの情報を得、幕張メッセと協力して千葉をアピールし、国際フォーラム、パシフィコ、メッセで競合の上、千葉市大規模コンベンション補助金の活用もあり、幕張メッセでの開催が決定した。			
	日本解剖学会、 日本薬理学会、 日本生理学会 【3学会同時開催】	令和7年3月	5,000名	幕張メッセ
C	・主催：日本解剖学会・日本薬理学会・日本生理学会合同大会 ・生命科学分野の伝統ある3学会の初の合同年次学術集会 ・千葉大学医学部安西教授からの情報をもとにアプローチ、最終的に千葉市大規模コンベンション補助金も適用できることになり、競合の神戸国際会議場、福岡国際会議場との競争に勝った。			

	第98回日本内分泌学会学術総会	令和7年6月	2,500名	幕張メッセ
C	・主催：日本内分泌学会 ・内分泌代謝学に関する学理及び応用の研究についての発表及び連絡、知識の交換、情報の提供等を行うことにより、内分泌代謝学に関する研究の進歩普及を図り、もって我が国における学術の発展と人類の福祉に寄与することを目的とした学術会議 ・2022年に千葉大学横手病院長より2025年に開催される当学会の支援をお願いしたいとの情報を得てヒアリング、幕張メッセでの開催での提案が理事会で承認され幕張メッセ開催の運びとなった。PCOが決まり次第アトラクションや物販の支援を行う予定。			
	Japan Spine Week 2025【5学会合同学会】	令和7年10月	1,000名	幕張メッセ
C	・主催：日本脊椎前方側方進入手術学会（JALAS）、日本脊椎インスチュルメンテーション学会、日本成人脊柱変形学会、日本側彎症学会、日本低侵襲脊椎外科学会（JASMISS） ・脊椎の分野の5学会が初めて合同で実施し、脊椎関係の医者研究者が一斉に集う。 ・千葉大学の大鳥教授が千葉と横浜での開催を検討し、使い勝手や費用面から幕張メッセに開催が決定した。			
	国際神経免疫学会 (ISNI)	令和7年10月	600名	幕張メッセ
C	・主催：国際神経免疫学会（ISNI） ・もともと海外コアPCOからメッセに引き合いきた案件で、デンマーク、東京、横浜、京都、大阪、神戸と競合していた。ローカルホストとなる国立精神・神経医療研究センターの山村教授が幕張メッセ開催想定でプレゼンをし、日本に決定した。しかし、実質権力のあるコアPCOが使い勝手と費用面で大阪を押してきたことから、千葉県・千葉市国際会議開催補助金を含めた千葉のアピールを主催団体へ再度プッシュし、幕張メッセでの開催決定に至った。現在日本神経免疫学会との合同開催を検討されている。			
	2025年フォトニクス・電磁波工学に関するシンポジウム (PIERS)	令和7年11月	1,300名	幕張メッセ
C	・主催：The Electromagnetics Academy（電磁波工学アカデミー） 一般社団法人電子情報通信学会・日本学術会議（予定） ・光・電磁波・情報通信技術分野に関する国際会議で、世界各地から著名な研究者が集結し、基礎理論から応用・関連技術に至る最新の研究成果の発表と情報交換の場 ・2018年のibtm Worldの時に知己となったJNTUアンハルバー中央大学の小林教授から自分が役員をつとめる学会のうちPIERSは、2020年12月に予定されていた中国のSanya（海南島・三亚市）で中止した会議をいつ復活させるかが未定となっているため可能性が高いとの情報を得て、2025年幕張メッセ開催案を提案し、幕張メッセの利便性や機能性が評価され決定に至った。			

(ア) 誘致手法の機能強化

a MICE案件の分析強化

財団の顧客管理システムに格納された案件を毎月開催される案件カンファレンスにより多角的に分析することにより、主催者へのアプローチや関連案件情報の紐付けが出来るようになり、より効果的な誘致活動を展開した。

b 国際会議のローカルホスト支援

主催者等が大会を誘致するために必要な支援としてホテル・PCOの紹介、ビットペーパー、プレゼン資料の作成等を実施した。

c MICE主催者の視察受入れ

令和4年度中に視察受入れを実施したのは次の通り3案件5回で、主催者との信頼関係の構築や施設に関する疑問点等の解決に役立った。

【視察受入れ】

	視察日	案件名	視察施設	視察者
		開催年、決定会場		
1	令和4年7月	アジア太平洋肝臓腫瘍学会 2024 (APASL) 令和6年10月、シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル	シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル	大会長他4名
2	令和4年8月 および9月	国際シロイヌナズナ研究会議 (ICAR2023) 令和5年6月、幕張メッセ 令和5年7月、幕張メッセ	幕張メッセ	大会長他7名
3	令和4年12月	国際ろうガイド会議 令和6年7月、かずさアーク	かずさアーク	大会長1名

d 主催者等への企画書やビットペーパー等の提出

会議の会場選定に当たり、千葉の魅力を伝えるための企画書やビットペーパーを主催者等に対して提出した。

e 千葉MICE Day

MICE主催者や当財団賛助会員を対象として、MICEを通じたビジネスチャ

ンスの拡大や新たなネットワーク作り、千葉県内へのMICEの誘致促進を図ることを目的とした交流イベントを開催した。

・開催日時：令和4年12月9日（金）

・プログラム：第1部 成田視察【成田山表参道・新勝寺散策、新生成田市場等】

第2部 セミナー・交流会

基調講演【国際医療福祉大学 学長 鈴木 康裕様】

CCBプレゼンテーション

・参加者数：90名

f CHIBA MICE GUIDEの改訂（日・英）

MICE主催者向けの「CHIBA MICE GUIDE」を日本語版及び英語版で作成し、財団ホームページに掲載。また、日本語版は冊子を作成し、千葉県内の会議施設、宿泊施設、補助金制度、ユニークベニュー、アトラクションなどを分かりやすく紹介した。

g ユニークベニュー情報の更新とホームページへの掲載（日・英）

ユニークベニューとして利用が可能な施設等の最新情報をホームページに掲載し、主催者の利用促進を図った。

h 千葉伝統芸能プロモーションビデオ等の活用

県内の代表的な伝統芸能の動画や各団体の最新情報をホームページに掲載し、周知に努めた。

イ 海外主催者へのプロモーション

（ア）国内外展示会・商談会への継続的出展

新型コロナウイルス感染症の影響で海外への渡航が制限される中で、オンラインまたは、リアルで開催された展示会や商談会に参加して、主催者に直接、最新情報を提供し、千葉がMICE開催地として選定されるように千葉の魅力を紹介した。

また、現地の生の情報を入手して、コロナ終息後のMICE事業が円滑に推進できるよう、今後の対策に役立てるとともに人的ネットワークの維持・強化を図った。

【参加した主なオンライン商談会・セミナー】

No	名 称	開催時期	開催方式	内容
1	JNTO 在外事務所との個別相談会 (ロンドン、シンガポール)	令和4年 6月	オンライン	現地情報・訪日 MICE の動向

2	ICCA Asia Pacific Chapter	令和4年 6月	オンライン	国際会議に関する最新状況
3	JNTO シンガポール市場オンライン BtoB 商談会	令和4年 6月～7月	オンライン	訪日団体旅行・インセンティブ等に関する商談
4	グローバル MICE 都市実務者会議	令和4年6 月他3回	東京	国際会議に関する最新状況
5	第25回 JNTO インバウンド旅行振興フォーラム	令和4年 9月	オンライン	各市場の最新情報
6	JNTO インセンティブ旅行商談会（ベトナム）	令和4年 9月	オンライン	インセンティブ旅行商談
7	VISIT JAPAN TRAVEL & MICE マーケット2022	令和4年 9月	東京 ハイブリッド	訪日団体旅行・インセンティブ等に関する商談
8	JNTO インセンティブ旅行商談会（タイ）	令和4年 10月	オンライン	インセンティブ旅行商談
9	JNTO インセンティブ旅行商談会（インドネシア）	令和4年 10月	オンライン	インセンティブ旅行商談
10	JCCB コンベンションビュロー部会	令和4年 10月	上越市	MICE に関する最新情報
11 ※	JNTO 国際会議・インセンティブ旅行商談会（シンガポール）	令和4年 11月	オンライン	国際会議・インセンティブ旅行商談
12	IBTM World 2022	令和4年 11月～12月	スペイン バルセロナ	国際学会、訪日インセンティブ等に関する見本市
13	MICE EXPO2022 in Kansai	令和4年 12月	大阪	国内外学会等に関する展示会
14	千葉県台湾旅行会社セールス	令和4年 12月	高雄 台南	国際会議・インセンティブ旅行商談
15 ※	JNTO インセンティブ旅行商談会（台湾）	令和4年 12月	オンライン	インセンティブ旅行商談
16 ※	JNTO インセンティブ旅行商談会（マレーシア・フィリピン）	令和5年 1月	オンライン	インセンティブ旅行商談
17	千葉県タイ王国旅行会社セールスと CCB 主催商談会	令和5年 1月～2月	バンコク	インセンティブ旅行商談
18	第32回国際 MICE エキスポ（IME2023）	令和5年 2月	東京	国内外学会、訪日インセンティブ等に関する商談
19	JCCB 研修会	令和5年 2月	東京	サステナビリティに関する研修
20	ラントホーレーター商談会	令和5年 2月	千葉市	インセンティブ旅行商談
21 ※	台湾 CCB 独自現地商談会	令和5年 3月	台北 台中	インセンティブ旅行商談

22	JNTO 主催マレーシア旅行商談会	令和5年 3月	マレーシア	インセンティブ旅行等商談
----	-------------------	------------	-------	--------------

※国際会議観光都市の担当職員が参加した商談会

a VISIT JAPAN トラベル & MICE マート 2022

JNTO が、世界中の訪日旅行取扱旅行会社等と日本各地のインバウンドに携わる団体・事業者を対象に、様々なインバウンド関連ビジネスを創出する商談会として「VISIT JAPAN MICE マート」を開催した。令和4年度はハイブリッド方式で2年ぶりに実施した。

- ・開催日：令和4年9月22日～9月24日
- ・会場：東京ビッグサイト 東展示棟 東6ホール
- ・主催：JNTO
- ・参加団体：日本側 217 団体
海外バイヤー256 社
- ・参加者：CCB 4 名
- ・商談方式：事前マッチング方式

b IBTM World 2022

スペイン・バルセロナにて毎年開催されるMICE見本市で、IMEX と並んで欧州の二大MICE見本市として地位を確立している。当財団としては2019 年以来6 回目の現地出展を実施。日本ブース内に設置した千葉デスクでの商談を通して、千葉県へMICE誘致に繋がる具体的な案件を取得すべく積極的な誘致活動を行った。

- ・開催日時：令和4年11月29日～12月1日
- ・参加状況：出展団体：約150ヶ国2,200 団体・企業
- ・ホステッドバイヤー：約3,500 名
- ・参加者：約10,000 名
- ・日本ブース内CCB 含め11 団体

c MICE EXPO2022 in Kansai

(一財)大阪国際経済振興センターや、(一社)日本展示会協会、(公財)大阪観光局等が主催し、「MICE 業界の再起動と活性化」をテーマに、業界全体が直面する課題解決やビジネスイノベーションの創出、市場の活性化を目的として、大阪で「MICE EXPO2022 in Kansai」を開催した。

- ・開催日時：令和4年12月7日～8日
- ・会場：インテックス大阪 2号館
- ・主催：「MICE EXPO in KANSAI」実行委員会

(一財)大阪国際経済振興センター、(一社)日本展示会協会、(一社)日本ディスプレイ業団体連合会、(公財)大阪観光局

- ・参加者：CCB 1 名

d 千葉県タイ王国旅行会社セールスと CCB 主催商談会

令和4年10月11日に日本の入国制限が緩和され、インバウンドが急速に回復する中、千葉県のインバウンド旅行誘致の重点国であるタイ（バンコク）において、千葉県、佐倉市及び県内観光事業者が連携し、現地にて訪日旅行（特にインセンティブ旅行）取扱い旅行会社向けのセミナー・商談会及びセールススクールを実施し、千葉県へのMICE誘致を図った。

・開催日：令和5年1月28日～2月3日

・セミナー・商談会：令和5年2月2日16:00～19:30

出展団体：千葉県、佐倉市、マザー牧場、鴨川シーワールド、CCB 5団体

招待客：タイ旅行会社・19社30名

プログラム：①千葉県セミナー（千葉県、CCB）

②商談会

③ディナー懇親会、抽選会

・セールススクール：令和5年1月30日～2月2日

訪問先：バンコク市内旅行会社（16社）

e 第32回国際MICEエキスポ（IME2023）

JCCB、JNTO が主催。国内外の主催者と全国のコンベンションビューローや自治体、MICE関連団体が参加し、主催者等に対して、助成金等を含む具体的なMICE誘致・支援情報を提供し、開催情報等を入手するための年1回開催する商談会。今回は、3年ぶりにリアル方式で実施した。

・開催日時：令和5年2月16日 13:00～18:00

・会場：東京国際フォーラム

・主催：（一社）日本コンGRES・コンベンション・ビューロー（JCCB）、JNTO

・参加団体：主催者（学協会、大学等237名（海外24名））

MICE関係者（自治体、MICE関連団体67団体）

・参加者：CCB 4名

・商談方式：事前マッチング方式

f 台湾 CCB 独自現地商談会

千葉県のインバウンド旅行誘致の重点国である台湾において、CCB と千葉県、県内4市（千葉市・成田市・木更津市・浦安市）及び県内観光事業者が連携し、現地にて訪日旅行（特にインセンティブ旅行）取扱い旅行会社向けのセミナー・商談会及びセールススクールを実施し、千葉へのMICE誘致を図った。

・開催日：令和5年3月13日～3月15日

・セミナー・商談会：（台北 リージェントホテル）令和5年3月13日10:00～13:30

（台中 スプラントホテル）令和5年3月14日10:00～13:30

・プログラム：①千葉県セミナー（千葉県、CCB、千葉市、成田市、木更津市、浦安市）

②商談会

③ランチ懇親会、抽選会

- ・セールスコール：令和5年3月13日～3月15日
- ・参加団体
千葉側：千葉県、国際会議観光都市（千葉市、成田市、木更津市、浦安市）、
ホテルスプリングス幕張、ホテルニューオータニ幕張、ホテル日航成田、
CCB 9団体
台湾側招待客：（台北）旅行会社・26社37名
（台中）旅行会社・36社44名
- ・セールスコール先：（台北）旅行会社・12社
（台中）旅行会社・3社
（台南・高雄）旅行会社・各1社

g JNTO 主催マレーシア旅行商談会

JNTO が主催するマレーシア旅行商談会に千葉県及び県内観光事業者が連携し参加した。現地では、訪日旅行取扱い旅行会社向けの商談会及びセールスコールを実施し、千葉県へのMICE誘致を図った。

- ・開催日：令和5年3月19日～3月23日
- ・商談会：令和5年3月20日10:00～17:00
出展団体：千葉県、千葉県観光物産協会、千葉市観光協会、成田市観光協会、鴨川シーワールド、CCB 6団体
招待客：マレーシア旅行会社・9社
プログラム：①JNTO 商談会
②旅行会社セールスコール（県内6団体）
③旅行会社セールスコール（CCB）
- ・セールスコール：①令和5年3月21日 県内6団体
訪問先：マレーシア市内旅行会社・5社
②令和5年3月22日 CCB
訪問先：マレーシア市内旅行会社・3社

ウ 国際会議観光都市等の市町村との連携強化

JNTO、国際会議観光都市の県内4市及び県内各市の関係者等と連携し、MICE開催へ結び付けるための誘致活動（JNTO オンライン商談会や台湾CCB独自現地商談会等）や、賛助会員を対象とした「ホスピタリティセミナー2023」等を行った。

また、国際会議観光都市連絡会議等において、事業の進捗状況等の報告、意見交換を行うとともに、「グローバルMICE都市等訪問調査」を実施し、今後のMICE誘致・支援活動の検討を行った。

（ア）国際会議観光都市連絡会議

- ・四市合同会議

開催日：令和4年5月19日

- ・千葉市との協議

開催日：令和4年6月22日、令和5年1月13日

- ・成田市との協議

開催日：令和4年6月22日、令和5年1月12日

- ・木更津市との協議

開催日：令和4年6月30日、令和5年1月16日

- ・浦安市との協議

開催日：令和4年6月13日、令和5年1月17日

(イ) 国内外で開催された商談会・セミナー等への参加

JNTO 主催インセンティブ旅行商談会（タイ、台湾、マレーシア・フィリピン）、JNTO 主催国際会議・インセンティブ旅行商談会（シンガポール）、「VISIT JAPAN トラベル & MICE マート 2022」、「MICE EXPO 2022 in Kansai」及び「第32回国際 MICE エキスポ（IME 2023）」等にオンラインまたは、リアルで参加し、直接国内外の情報を入手するとともに、台湾で独自現地商談会をリアル開催して、国際会議観光都市の千葉市・成田市・木更津市・浦安市などの参加者9団体とともに、現地旅行会社に千葉の MICE 事業の最新情報を提供し、インセンティブ旅行の最新トレンドのヒアリング、意見交換を行うなど、往来再開後の誘致に努めた。

(ウ) ホスピタリティセミナー2023

賛助会員企業等の MICE 関係者を対象に「ホスピタリティセミナー2023」を開催した。JAL 現役客室乗務員を講師で迎え、JAL のおもてなしの心をベースにしたサービスメソッドを学び、今後の MICE 誘致・支援のさらなる促進を図った。

- ・開催日時：令和5年2月8日 15:00～16:30

- ・開催場所：千葉市美術館 11F 講堂

- ・参加者：80名（主催者等の MICE 関係者、賛助会員、観光協会、地方自治体）

(エ) グローバル MICE 都市等訪問調査

行動制限の緩和や水際対策の見直しにより、イベントの開催や観光需要が回復しつつある現在、グローバル MICE 都市である神戸市と福岡市を訪問し、コロナ下の MICE 誘致の取組方針、地元の MICE 施設や大学等の主催者との連携、地域連携などを調査し、今後の MICE 誘致施策や取組の方向性の参考とした。

【神戸市、大阪市】

- ・出張期間：令和5年3月8日（水）～11日（金）

- ・訪問先：神戸コンベンションビューロー、神戸ポートピアホテル、神戸市港湾エリア、北野異人館街、南京町、インテックス大阪、大阪国際会議場、大阪城付近

- ・訪問者：浦安市1名、CCB1名

【福岡市】

- ・出張期間：令和5年3月15日（水）～3月17日（金）
- ・訪問先：JTB福岡支店、マリンメッセ・福岡国際会議場、福岡観光コンベンションビューロー、福岡市内、大宰府周辺
- ・訪問者：成田市1名、CCB2名

エ 関係各機関との連携強化

県内の大学、研究機関等の主催者になり得る組織や、当財団の賛助会員をはじめとする企業、団体等との関係を強化し、誘致競争力を高めるための活動を実施した。

（ア）主催者とのネットワークづくりの強化・拡大

a 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構との関係強化

令和4年6月27日に、研究員博士、事務職員の方々を対象に、木更津エリアのMICE施設である、かずさアカデミアホール・オークラアカデミアホテルと、三井アウトレットパークの視察会を実施した。

b 主催者と県知事の面談

29年ぶりに千葉で開催された第45回日本分子生物学会年会において、主催者の意向により千葉県知事への表敬訪問を実施。千葉県国際会議開催補助金支出の御礼が伝えるとともに、今後の千葉での開催意向が示された。

（イ）賛助会員とのネットワーク構築と会員へのサービス強化

a ちばMICEネットワークミーティング

当財団からのMICE関連の情報の提供に加えて、賛助会員同士の情報交換の場とした。本年度は、オンライン開催ではなくリアルにて3回開催し、賛助会員同士のネットワーク強化につなげた。

年度	開催回数	参加団体（累計）	参加者数（累計）
令和4年度	3回	55団体	66名
令和3年度	5回	84団体	96名

b 賛助会員への主催者紹介

会議主催者からの依頼を受け、IPCOコンペや物産販売などの支援を行うに当たり、当財団の賛助会員と主催者とのマッチングをすることで賛助会員との関係強化につなげた。

（ウ）その他関連団体との関係強化

a 当財団職員が講師を務めたセミナーや講義

当財団職員を要請のあった県内大学に派遣し、当財団の活動を周知した。

No	名 称	開催時期	開催方法	講義内容
1	明海大学 ホスピタリティ・ツーリズム学部学生への講義	令和4年 5月	リアル	地域における MICE 誘致の意義と取組
2	千葉経済大学生への講義	令和5年 1月	リアル	千葉県における MICE 誘致の意義と取組～幕張新都心の昨日・今日・明日～

(3) MICE開催支援の強化

新型コロナウイルス感染症の影響で会議のオンライン化や、ハイブリッド化が進む中で、主催者及び参加者の満足度を高め、千葉開催を意識してもらえるよう、財政支援や、千葉県や財団プロモーション画像の上映、案内ブースでの観光ガイドマップや千葉県産物品の提供、さらに、地元アトラクションの紹介や財団のホームページ掲載による広報協力など、主催者のニーズに応えた支援を実施した。

ア 補助金、助成金、貸付制度等の効果的な活用

千葉県国際会議開催補助金制度、千葉市国際会議開催補助制度、千葉市大規模コンベンション開催補助制度、千葉市MICE開催補助制度、成田市コンベンション開催事業補助金制度、コンベンション開催助成金及びコンベンション開催準備金の貸付けなど、令和3年度までに千葉市と連携したハイブリッド型MICE開催促進補助制度を効果的に活用して、誘致案件の獲得やオンライン会議のハイブリッドへの転換等を進めた。

(ア) CCB コンベンション開催助成金

令和4年度は開催助成金は15件を予定していたが、1件が開催中止となった以外は8件がリアル開催、6件がハイブリッド開催となり、助成金支給案件は8件、申請辞退案件が6件となった。

(イ) CCB コンベンション開催準備資金の貸付け

下記案件は当初令和3年7月の開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の収束が予想以上に不透明となり、令和4年7月開催予定から更に1年間延期され令和5年8月開催となり、貸付期間も延長した。

会議名称	開催年月	参加者数 (うち海外)	貸付額	返済予定 定期日
The 9th International Meeting on Relaxations in Complex Systems コンプレックスシステムにおける緩和に関する国際会議	令和5年 8月	900名 (600名)	500万円 ※令和元年 11月貸付	令和 5年 11月

イ 千葉ならではの開催支援

(ア) 令和4年度案件に関する開催支援

会議・大会等の開催時に、観光パンフレットの配布や県プロモーション動画の上映を実施することを通じて、MICE開催地としての千葉をPRするとともに経済波及効果の拡大を図った。併せて、主催者や参加者に直接、県の魅力をPRすることで次回以降の会議や関連の会議の誘致につなげるよう努めた。

(実施内容の区分)

区分	支援内容
A	会場内に当財団のブースを設置し、観光パンフレットや当財団の事業の紹介の配布、物産ブース支援
B	アトラクション支援、千葉のPRとしてグッズ提供・紹介やマスコットキャラクターの派遣
C	講演等の幕間での千葉県プロモーション動画、当財団のMICE誘致動画の上映
D	市民公開講座などの告知支援、近隣レストラン等の割引等支援

開催支援した主な会議

No	名称	開催時期 開催会場	参加者 (名)	実施内容
1	日本地球惑星科学連合 2022年大会（ハイブリッド）	令和4年5月 幕張メッセ	現地 3,000 オンライン 2,300	A, D
2	第63回日本人間ドック学会 学術大会（ハイブリッド）	令和4年9月 幕張メッセ	現地 1,500 オンライン 3,000	A, C, D
3	第28回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術 大会（ハイブリッド）	令和4年9月 幕張メッセ	現地 3,000 オンライン 3,500	A, B, D
4	World Clinical Laser Institute Asia Pacific Symposium	令和4年10月 ヒルトン東京 ベイ	現地 110	B
5	第45回日本分子生物学会 年会（ハイブリッド）	令和4年11月 幕張メッセ	現地 5,500 オンライン 1,000	A, B, D

(4) MICE適地「千葉」ブランドの確立

千葉のブランドイメージ強化のため、千葉県の有する魅力あるMICE資源の情報収集に努めるとともに、各種媒体を活用して国内外への情報発信を行った。

ア 県、市町村、JNTO、千葉県観光物産協会等との連携強化による発信

- (ア) 令和6年11月に幕張メッセで開催が決定された国際会議「2025 Photonics and Electromagnetics Research Symposium PIERS 2025」(2025年フォトンクス・電磁波工学研究に関するシンポジウム)の広報支援を、JNTO及び主催者と連携して行い、MICE適地千葉のプレスリリースを実施した。
- (イ) 国際会議(PIERS 2025)の誘致決定や当財団主催のイベント「令和4年千葉MICE Day」や「ホスピタリティセミナー2023」等のプレスリリースを行い千葉でのMICE開催の気運醸成を図った。
- (ウ) JNTOが作成した「MICE主催者向けバーチャル視察動画」を活用し、コロナ禍で渡航が難しい状況の海外MICE主催者向けに千葉の魅力をPR。「国際会議の海外キーパーソンが視察にやってきた」というコンセプトのもと、実際に視察で来日したかのような英語でのパーソナルツアーを紹介した。(海外向け)
- (エ) 学会・業界専門誌、MICE専門誌へ、千葉MICE DAYなど、CCBの取り組んでいる事業の記事を配信し、情報を常にアップデートして千葉ブランドイメージの維持に努めた。
- (オ) 令和4年度に開催された国際会議等と財団ホームページへの相互リンクを行い、大会の周知や当財団の知名度アップを図った。

イ WEB・SNS等を活用した情報発信の強化

- (ア) 財団のプロモーションビデオをオンライン会議や「千葉MICE Day」で上映するなど、積極的に情報発信に努めた。
- (イ) 財団ホームページに新たに千葉伝統芸能やユニークベニユーの情報を掲載し紹介するとともに、イベントカレンダー掲載MICE案件を充実し、MICE開催地千葉の魅力を発信した。
- (ウ) 海外向けメールマガジン Chiba Update を定期的に海外のメディアに配信し、一部の内容はMICE Asia(シンガポール)やNippon Taiyo Hospitality(インド)に掲載されるなど、海外での千葉の認知度を高めた。また、インバウンド向け日本フェアにおいて、主催者のホームページで当財団のプロモーション動画が紹介された。(海外

向け)

(エ) C C B - I C ニュースとして年 4 回、当財団の活動報告、最新の M I C E 関連情報、会員活動等の情報を定期的に配信するとともに財団 H P に掲載した。

(オ) 財団ホームページや会員ニュースレターを用い、新規賛助会員を紹介し各会員の情報を発信した。

(カ) インセンティブ旅行誘致に向け、オンライン商談会等で千葉の魅力を視覚的に伝えるための資料を常に最新版に更新し、また新たに千葉県内のグランピングパンフレットを英語版で作成し、ホームページにも掲載するなど、効果的な情報発信に努めた。
(海外向け)

ウ 千葉県フィルムコミッション運営事業（受託事業）

映画やドラマ等を通して、千葉県の知名度、情報発信、文化の向上を図り、観光客の来葉促進等に寄与するよう千葉県が実施するフィルムコミッション運営事業を受託し、千葉県のフィルムコミッションの総合窓口としての役割に加え、「M I C E エリア千葉」の情報発信を行うため、次の事業を実施した。

(ア) 映像関係者に対するロケーション撮影及びロケ地に関する情報提供、相談業務、その他の撮影支援

a 令和 4 年度撮影支援実績

カッコ書き()は昨年度の件数

内容	受付件数	撮影依頼件数	
			うち県内撮影件数(*)
件数	2,948 件 (3,172 件)	337 件 (354 件)	92 件 (98 件)

(*)目標件数 48 件

b 令和 4 年度 主な撮影支援作品

媒体	タイトル	撮影地
映画	おとななじみ	千葉市
	劇場版「ネメシス」	千葉市
	イチケイのカラス	館山市、市原市
	インド映画「SUMO DIDI」	東庄町、大多喜町、香取市
	ミステリと言う勿れ	我孫子市

	ミンナのウタ	銚子市
	MIND YOUR EYE2	市原市
	TOMA2 号	富津市
ドラマ	フジテレビ「競争の番人」	東金市
	TBS「オールドルーキー」	千葉市、袖ヶ浦市、 習志野市
	AmazonPrime「エンジェルフライト～国際 霊柩送還士～」	山武市
	日本テレビ「金田一少年の事件簿」	柏市
	Netflix「離婚しようよ」	千葉市、南房総市
	フジテレビ「世にも奇妙な物語‘22 秋 の特別編」	栄町、成田市
	日本テレビ「ファーストペンギン」	千葉市、君津市、富津市
	NHK「つまらない住宅地のすべての家」	千葉市
	フジテレビ SP ドラマ 「イチケイのカラス」	船橋市、香取市、千葉市、 長柄町
	テレビ東京「シガテラ」	千葉市、我孫子市、市川市、 君津市、山武市
	テレビ朝日「波よ聞いてくれ」	千葉市
	NHK「ケーキの切れない非行少年たち」	東金市
P V ・ その他	PV「日向坂 46」	市川市
	PV「放課後のマリアーージュ」	鴨川市
	スチール「GANGPARADE」	君津市
	出版社 CM	印西市、佐倉市

(イ) フィルムツーリズムの推進

a 映画「TANG」タイアッププロモーションの実施

- ・ロケ地マップチラシ作成、HP 特設サイト開設。
SNS にて告知し、希望者約 200 名にロケ地マップを郵送。
- ・AR アプリを活用し、千葉市、長柄町、いすみ市の 3 か所のロケ地にて劇中キャラクターAR を出現、ロケ地でキャラクターとの記念撮影できる施策を実施。
- ・デジタル観光アプリ「SpotTour」を使用したモバイルスタンプラリーを開催。
ロケ地 5 カ所と周辺スポット 8 カ所のデジタルスタンプを集めると、特製ノベルティグッズが当たるキャンペーンを実施。
- ・劇中キャラクターオリジナルペーパークラフトをロケ地周辺にて配布。

AR、スタンプラリーと合わせロケ地巡りを推進した。

b 映画「さかなのこ」タイアッププロモーションの実施

- ・ロケ地マップチラシ作成、HP 特設サイト開設。
- ・“渚の駅”たてやまにて、ロケシーン、さかなクン直筆の館山市民向けイラスト原画等の特別展示を開催。
- ・館山市南総文化ホールにて、監督舞台挨拶、写真展を含む特別上映会を実施。
- ・館山市、南房総市、鴨川市のロケ地および観光・グルメ施設、JR 駅などを巡るモバイルスタンプラリーの実施。また、ロケ地での記念撮影が可能となる AR によるオリジナルフォトフレームを作成し、ロケ地巡りを推進した。

c 映画「20 歳のソウル」/パネル展示会

- ・船橋市民ギャラリー、船橋東武百貨店パネル展示会を実施。

(ウ) 市町村での撮影に関する調整、実績調査、その他市町村のフィルムコミッション設立を促進するための会議等の開催

a 千葉県内映画・ドラマ等撮影実績調査の実施

- ・第1回：令和4年4月1日(木)～令和4年9月30日(木)
- ・第2回：令和4年10月1日(金)～令和5年3月31日(木)

※対象 県内全市町村

b フィルムコミッション市町村担当者会議の実施

ちばプロモーション協議会と共同開催し、市町村フィルムコミッション担当者のみならず、観光協会や商工団体、企業などから約60名が参加。撮影実績を活用したプロモーション事例などを共有しながら、フィルムコミッション事業活性化を促す会議を実施した。

- ・開催日：令和4年6月15日(水)
- ・会場：オークラ千葉ホテル
- ・参加者数：34市町村38名、19団体19名 計57名

(5) 地域活性化への貢献

ア 県内の活性化

(ア) 幕張新都心の活性化

幕張新都心の活性化につながるイベントである「マクハリエルミ22／23」の幕張新都心イルミネーション実行委員会に参加し、海浜幕張駅前広場（南、北口）での同イベントの支援活動を行った。

＜開催期間＞：令和4年11月11日(金)～令和5年1月31日(金)（82日間）

また、「第8回セントパトリックス・ディ・パレード海浜幕張2023」の実行委員会に参加し、幕張海浜公園での同イベントの支援活動を行った。

・開催日：令和5年3月21日（火・祝）

（イ）La Festa Mille Miglia（ラ・フェスタ・ミッレミリア）2022支援

明治神宮を出発し、幕張ベイタウンまで1都6県（約1,300km）を走る国際クラシックカーの祭典。最終日の県内ルートについて主催者及び成田市、芝山町、一宮町、木更津市、千葉市との調整を行い、幕張ベイタウンでは初となるゴールセレモニーの実施に繋げ、コロナ禍での大会開催に貢献した。

・開催期間：令和4年9月16日（金）～令和4年10月20日（火）（5日間）

（ウ）幕張総合高校との連携

千葉独自のおもてなしとして、幕張総合高校と連携を図り、「マクハリイルミ22/23」では、シンフォニックオーケストラ部、ダンス部、そして書道部のパフォーマンスの公演を企画し実施した。

2 国際交流・国際協力の促進と多文化共生社会づくり

（1）多文化共生のためのネットワーク化事業

ア 国際交流ボランティア運営事業

（ア）国際交流ボランティア制度の運営

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ボランティアの対面による活動、現場への紹介を中止したが、法律相談、学校の保護者面談、児童相談所等、在住外国人支援につながる活動においては、オンラインや電話を活用した遠隔通訳をコーディネートした。

【語学ボランティア】

通訳や翻訳等、語学を通じて国際交流を図るもの

・登録者数：1,157名

・紹介件数：18件（36名（多文化共生サポート制度該当分を含む））

【ホストファミリーボランティア】

外国人を家庭に招待して国際交流を図るもの

・登録者数：340家庭

・紹介件数：0件（0家庭）

【文化ボランティア】

趣味、特技、外国生活体験等を生かして国際交流を図るもの

・登録者数：243 名

・紹介件数： 0 件

【日本語ボランティア】

外国人と日本語によるコミュニケーションを通じ国際交流を図るもの

・登録者数：217 名

・紹介件数： 0 件（0 名）

【事業ボランティア】

イベントの支援や災害時の外国人支援を通じ国際交流を図るもの

・登録者数：163 名

・紹介件数： 0 件（延べ 0 名）

（参考）国際交流ボランティア数の推移

種別	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
語 学（名）	1,764	1,877	1,076	1,108	1,157
ホストファミリー （家庭）	344	346	336	336	340
文 化（名）	259	257	241	240	243
日本語（名）	146	153	160	195	217
事 業（名）	96	125	135	153	163
計（延べ）	2,609	2,758	1,948	2,032	2,120

※令和 2 年度 語学ボランティアの更新調査を実施。

更新を希望しない、宛先不明、更新票未回答のボランティアの退会処理を行った。

（イ）多文化共生サポート制度の運営

医療、保健、福祉、教育等の生活支援を要する在住外国人に対し、語学ボランティアを紹介した。コロナ禍において、対面での活動紹介を停止している間は、オンラインや電話を活用した遠隔通訳をコーディネートした。

・紹介件数：8 件

イ 多文化共生ボランティア養成研修事業

（ア）地域日本語教育推進事業

a 「総括コーディネーター」の配置

県内の市町村等と連携し、地域日本語教育推進事業を推進する「総括コーディネーター」を設置した。

b 「地域日本語教育コーディネーター」の配置

地域や外国人の特性等に対応した教育プログラムを構想し、地域内の日本語教室への指導・助言等を行う「地域日本語教育コーディネーター」を配置した。

c 日本語学習支援者基礎講座

在住外国人に対し日本語の学習支援を希望する県民を対象に、必要となる基礎的な知識や素養を養うための講座を実施した。

○「日本語学習支援と文化理解を学ぶ講座 in 南房総」

(a) 開催日：令和4年6月5日（日）・6月11日（土）・6月18日（土）・6月25日（土）・7月2日（土）

(b) 会場：Zoomによるオンライン開催(4回目のみ千倉保健センターで対面実施)

(c) 講師：徳永あかね氏、高橋道恵氏、吉田曜子氏、油川美和氏、吉野文氏

(d) 参加者数：21名

○「日本語学習支援と文化理解を学ぶ講座 in 千葉県」

(a) 開催日：令和4年10月22日（土）・10月29日（土）・11月5日（土）・11月12日（土）・11月19日（土）

(b) 会場：Zoomによるオンライン開催

(c) 講師：徳永あかね氏、高橋道恵氏、吉田曜子氏、油川美和氏、吉野文氏

(d) 参加者数：28名

d 日本語学習支援者フォローアップ講座

県内で活動する日本語学習支援者等を対象に、日ごろの活動において更なる資質向上を目指すための実践的な講座を実施した。

○「生活者（大人）への支援活動編」

(a) 開催日：令和4年9月7日（水）

(b) 会場：幕張テクノガーデン会議室で対面開催

(c) 講師：嶋田和子氏（アクラス日本語教育研究所代表理事）

「人・社会とつながる日本語学習支援 ～「対話を重視した教室活動のヒント」」

(d) 参加者数：20名

○「子どもへの支援活動編」

(a) 開催日：令和4年10月12日（水）

- (b) 会 場：幕張テクノガーデン会議室で対面開催
- (c) 講 師：鎌形卓史氏（千葉県教育庁教育振興部学習指導課）
「千葉県外国人児童生徒等教育に関する取組について」
志村ゆかり氏（一橋大学非常勤講師）
「みんなで考える外国につながる子どもへの支援活動～多様な
子どもへの多様な支援のあり方～」
- (d) 参加者数：18 名

e オンライン日本語クラス

県内在住外国人へ日本語学習の機会を提供するとともに、市町村に対して日本語教育のモデル教室を示すため実施した。

- (a) 開催日：令和 5 年 1 月 27 日（金）・2 月 3 日（金）・2 月 10 日（金）・2 月 17 日（金）・2 月 24 日（金）
- (b) 会場：Zoom によるオンライン開催
- (c) 講師：油川 美和氏（他、日本人学習支援者 4 名）
- (d) 参加者数：11 名

f ウクライナ避難民に対する基礎日本語教室

来日間もないウクライナ避難民の日本語学習希望者に対し、基礎日本語教室を実施した。

- ・開催日：第 1 期 令和 4 年 5 月～7 月、第 2 期 令和 4 年 8 月 計 28 回

g 地域日本語教育関係者ミーティング

県内において、外国人に対し日本語学習支援を行っているボランティアなどを対象に、活動に役立つ情報の提供や、意見交換等を図るため県が行う会議に協力した。

- (a) 開催日：令和 4 年 12 月 23 日（金）
- (b) 会 場：Zoom によるオンライン開催
- (c) 講 師：新居みどり氏（NPO 法人国際活動市民中心（CINGA）理事）
「変わる？変わらない？地域の日本語教室～多彩な活動のアイディア、そして今後の方向性～」
- (d) 参加者数：23 名

（イ）外国人相談基礎研修

外国人相談担当者や日本語ボランティアなどを対象に、外国人が生活する上で必要

となる基礎的事項（出入国や行政手続など）等の知識や日本に住む難民に関する知識を学ぶ研修を、専門家を招いて実施した。

- (a) 開催日：令和5年1月12日（木）
- (b) 会場：Zoomによるオンライン開催
- (c) 講師：建山宣行氏（東京出入国在留管理局在留支援部門）
「在留管理制度の基礎知識」
新島彩子（認定NPO法人難民支援協会）
「日本に住む難民について」
- (d) 参加者数：85名

（ウ）語学ボランティア講座

MICE関連事業やスポーツ大会等における案内ボランティア等としての活動を見据えた講座を実施した。

①国際会議コース

- (a) 開催日：令和4年10月22日（土）
- (b) 会場：幕張メッセ・見浜園
- (c) 講師：村上愛美（財団MICE事業部）
「MICEについて学ぼう」
英語で案内ロールプレイ・見浜園散策
- (d) 参加者数：28名

②国際イベント&障がい者サポートコース

- (a) 開催日：令和4年11月13日（日）
- (b) 会場：幕張テクノガーデン会議室
- (c) 講師：徳増浩司氏（前・ラグビーワールドカップ2019組織委員会事務総長特別補佐）
「スポーツを通じたグローバルコミュニケーション」
内山早苗氏（株UDジャパン）
「多様なサポート方法を学ぼう」
小野智広氏（JICA海外協力隊）
「ケニア特別支援学校オンライン交流プログラム」
- (d) 参加者数：21名

ウ 国際理解促進事業

（ア）国際理解セミナー

県民、県内の民間交流団体や学生等を対象に、国際理解の促進、グローバル人材の

育成、国際交流・協力活動の促進等に役立つ講座を、専門家等を招いて実施した。

(a) 第1回

- ・開催日：令和4年11月11日（金）
- ・会場：千葉県文化会館 小ホール
- ・講師：田村太郎氏（一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事）
- ・内容：講演「ダイバーシティな地域づくりに求められる視点と取り組み」
- ・参加者数：94名
- ※ 千葉県と共催

(b) 第2回

- ・開催日：令和4年12月4日（日）
- ・会場：Zoom によるオンライン開催
- ・講演①「多文化共生社会の実現に求められることは？」
小川玲子先生（千葉大学社会科学研究院教授）
- ・講演②「＜外国につながる子供たち＞は何を学んでいるのか」
小林聡子先生（千葉大学国際学術研究院准教授）
- ・参加者数：104名
- ※ JICA 東京 教員のための SDGs 研修と同時開催

(イ) 国際協力パネル展

国際協力や国際理解の意識を高めるため、関係機関と合同でパネル展を実施した。

- ・開催日：令和4年6月21日（火）～6月27日（月）
- ・会場：そごう千葉店ギャラリー
- ・内容：国際協力活動等を紹介したパネル展
- ※千葉県、JICA 東京、千葉県ユニセフ協会との共催により実施

(ウ) 国際フェスタCHIBA・会場

国際交流・協力、また地域の多文化共生活動について、県民及びボランティア等の理解を促進できるよう、県内の国際交流・協力団体、在住外国人等と連携し、国際フェスタを実施した。

- ・開催日：令和4年7月23日（土）
- ・会場：Zoom によるオンライン開催
- ※一部のプログラムは会場（会場：幕張テクノガーデンD棟14階）とオンラインのハイブリッドで行う
- ・内容：講座1 ちば出前講座 ONLINE「デビットの学び」
講座2 JICA海外協力隊現地レポート（カンボジア王国編）
講座3 お楽しみ落語会～英語・日本語落語～

講座 4 ちば出前講座 ONLINE（お国紹介 メキシコ・ベトナム）

講座 5 JICA海外協力隊現地レポート（ルワンダ共和国編）

エ ちば出前講座

（ア）ちば出前講座講師の派遣

県民の国際理解や国際協力への意識啓発等を図るため、在住外国人を講師として団体や学校、公民館などへ派遣し、出身国や開発途上国での体験等を伝える講座を実施した。

- ・件数：30件
- ・派遣講師：50名
- ・講師登録者数：286名

（イ）多文化共生開発講座の実施

外国人講師による授業やディスカッション型ワーク等を通して、次世代を担う子どもたちの多文化共生意識を養う中学生以上向けの講座を実施した。本事業は（一財）自治体国際化協会（クレア）の「多文化共生のまちづくり促進事業」の助成金を活用し、令和2年度から実施している。

外国での学校生活、生活習慣や文化の違い、アニメ、遊び、スポーツなど小学生にも親しみやすいテーマについて外国人講師が講演を行うとともに、異文化理解のための教材「レヌカの学び」等を通じて、多文化共生について理解を深めた。

また、授業の様子や実績をHPで公開した。

検討委員会：5月23日、8月4日、11月24日

開催日：千葉県立磯辺中学校 6月15日、6月16日 1,2年生 延べ26名
（ペルー）

船橋市立葛飾中学校 9月13日、9月16日、9月20日 3年生
延べ390名

（オーストラリア、台湾、ペルー、スリランカ、インドネシア、中国）

千葉県立千葉盲学校 10月6日、12月5日 3年生 延べ12名
（ペルー、パキスタン）

市原市立南総中学校 10月28日 2年生 延べ73名
（インドネシア、台湾、ペルー）

浦安市立浦安中学校 11月17日 3年生 延べ159名
（スリランカ、ペルー、オーストラリア、台湾、中国、ネパール）

参加講師：在住外国人 23名

オ 様々な主体との交流・調整事業

（ア）国際交流・協力等ネットワーク会議

千葉県と共催で、市町村・市町村国際交流協会・民間国際交流・協力団体を対象に、千葉県国際交流センター等による実施事業の周知や、団体活動に関する情報交換、意見交換を図るための会議をオンラインで開催し、団体相互の連携の促進と、地域におけるネットワーク化を推進した。

- a 開催日：令和4年10月26日
- b 開催方法：Zoomによるオンライン開催
- c 内 容：
 - (a) 令和4年度事業について
(千葉県国際課、千葉県国際交流センター、JICA 東京)
 - (b) ミニセミナー
「多文化共生のための情報伝達について」講師：カブレホス・セサル氏（チーバくんパートナー）
 - (c) 情報交換会
 - 1 外国人の教育・進学支援について
 - 2 外国人への効果的な情報伝達について
- d 参加者数：58名

(イ) 外国人相談担当者意見交換会

日ごろ県内の在住外国人からの生活相談等に応じている市町村や市町村国際交流協会等の相談担当者を対象に講義及び意見交換を行った。

- ・実施日：令和5年2月22日
- ・会 場：Zoomによるオンライン開催
- ・内 容：(a) 講義：「外国籍者が当事者となる法的紛争の注意点（家事事件を中心に）」
講師：千葉県弁護士会 中村 亮 氏
- (b) 質疑応答・意見交換
- (c) 参加者数：14名

(ウ) 各種関係機関・団体との連携

- a 法人・任意団体の運営への参画
次の法人又は任意団体の構成員（理事、評議員）として、国際交流・国際協力の推進に参画した。
 - (a) 公益財団法人千葉市国際交流協会
 - (b) 千葉県ユニセフ協会
 - (c) 千葉ウィスコンシン協会

(d) 幕張インターナショナルスクール

b 関係機関との情報交換等

次の会議等において、関係機関と情報交換・意見交換等を行った。

- (a) 千葉県高等学校教育研究会国際教育研究部会総会
- (b) 多文化共生社会づくり連絡協議会
- (c) 地域国際化協会連絡協議会総会
- (d) 関東地域国際化協会連絡協議会情報交換会（オンライン開催）
- (e) 関東弁護士会連合会懇談会（オンライン開催）
- (f) 千葉県弁護士会「外国人関係機関との懇談会」（オンライン開催）
- (g) 千葉県教育庁 帰国・外国人児童生徒等の日本語指導担当者連絡協議会
- (h) 千葉県地域日本語教育推進事業総合調整会議

c インターンシップの受入れ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため受入れ募集中止。

d 後援名義による支援

県内の国際交流団体等が実施する7件の国際交流関係事業に対し、後援名義の使用承認を行った。

e イベント等への参加協力

次のイベント等に参加、協力した。

- (a) 第22回日本語弁論大会関東甲信越静地区代表審査（千葉県高等学校教育研究会国際教育研究部会）
 - ① 開催日：令和4年7月
 - ② 開催方法：動画配信による審査
- (b) 英語・日本語弁論大会（千葉県高等学校教育研究会国際教育研究部会）
 - ① 開催日：令和5年1月
 - ② 開催方法：千葉県立成田国際高校
- (c) 日本貿易振興機構アジア経済研究所開発スクール入学式・修了式
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- (d) 千葉県日中友好協会新年祝賀会

カ 国際交流サロンの提供

県民や県内の民間交流団体等に対し、国際交流・協力活動や、研修・交流・国際関連情報提供等の場となる国際交流サロン（当財団研修室や資料コーナー等）を提供して活動を支援した。（研修室利用累計：88回 650名）

（２）情報提供事業

ア 会報「国際交流つうしん」の発行等

（ア）会報「国際交流つうしん」の発行

千葉県国際交流センターの事業や、県内の民間交流団体の活動等の紹介し、国際交流、国際協力、多文化共生等に関する意識啓発や活動促進などにつなげた。

また、在住外国人へのインタビューや外国人が集まる施設、レストランの取材を通して外国人住民への理解を促進するとともに、地域日本語教育推進事業などについて紹介した。

7月（107号）、11月（108号）、3月（109号）。

（各10,000部発行。ホームページにも掲載、対象は県民や県内の民間交流団体、ボランティア等）

（イ）ホームページ、SNSによる情報提供

県民や在住外国人、県内の民間交流団体等への迅速かつ有益な情報源とするため、千葉県国際交流センターのホームページ及びFacebookに、多言語ややさしい日本語で、次のような内容を掲載した。また、TwitterおよびInstagramも開設し、SNSを活用し、災害時等、タイムリーかつ幅広い情報発信に努めた。

（主な内容）

- ・新型コロナウイルスに関連する情報、外国人のための生活情報、相談窓口、国際交流ボランティア制度、県内の民間交流団体や日本語教室、国際協力情報、講座・イベントの情報、会報 など

イ 千葉県外国人学生住居アドバイザー事業

県と共同で、県内に在住を希望する外国人学生の住居確保を支援するため、（一社）千葉県宅地建物取引業協会及び（公社）全日本不動産協会千葉県本部の推薦に基づき46店舗が千葉県住居アドバイザーとして選任され、住宅に関する情報提供や助言を行

った。

(3) 在住外国人支援事業

ア 千葉県総合相談事業（受託事業）

在住外国人が安全で快適な生活を送ることができるよう、総合的な相談窓口として千葉県外国人相談を 13 言語にて実施した。なお、新型コロナウイルスに関連した症状、失業、入管手続きやウクライナ難民等についての相談が多く寄せられ、件数が増加した。

対応言語：日本語・英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語・韓国語・
ベトナム語・タガログ語・ネパール語・タイ語・インドネシア語・
ロシア語・ヒンディー語

相談件数：1,539 件

相談内容（上位 5 位）：

①医療 ②出入国 ③法律・諸制度 ④渉外戸籍 ⑤生活一般
（コロナ関連 226 件 症状、生活一般・相談窓口、入管、ワクチン等）
（ウクライナ関連 136 件 在留資格、住居、支援等）

相談者国籍（上位 5 位）：

①日本（注） ②中国 ③フィリピン ④ネパール ⑤アメリカ
（注）外国人の代理として、配偶者、知人、通訳等が相談するケース
外国人への対応に関して日本人が相談するケース 等

（参考）外国人相談の状況

年度 種別		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
件数（件）		1,026	1,223	1,639	1,373	1,539
相談 内容 （上位 5 位）	1 位	出入国	出入国	就労	出入国	医療
	2 位	就労	渉外戸籍	医療	就労	出入国
	3 位	渉外戸籍	就労	法律・諸制度	医療	法律・諸制度
	4 位	法律・諸制度	法律・諸制度	出入国	渉外戸籍	渉外戸籍
	5 位	医療	人権・身の上	各種情報案内	法律・諸制度	生活一般
相談者 の国籍 （上位 5 位）	1 位	日本	日本	日本	ペルー	日本
	2 位	ペルー	ペルー	ペルー	日本	中国
	3 位	フィリピン	中国	中国	中国	フィリピン
	4 位	中国	フィリピン	フィリピン	フィリピン	ネパール
	5 位	アメリカ	アメリカ	アメリカ	イギリス	アメリカ

イ 在住外国人のための無料法律相談（受託事業（一部））

在住外国人が地域社会で日常生活を送る際に抱える法律的な問題の解決を支援するため、千葉県弁護士会・千葉県行政書士会と連携し、一部オンラインや電話の三者通話等の遠隔機能を取り入れ、無料法律相談を実施した。（原則第一月曜日）

開催日：令和4年4月11日、5月14日、5月30日、6月13日、7月4日
8月8日、9月5日、10月3日、10月31日、11月12日、12月5日、
令和5年1月14日、1月30日、2月13日、3月6日
奇数月は行政書士を含む。

会場：当財団研修室等

相談者数：61名

また、千葉県弁護士会と「外国人のための法律相談会」を共催で実施した。

開催日：令和4年6月23日、12月22日

会場：当財団研修室等

相談者数：6月（7名）、12月（11名）

ウ 緊急時支援

千葉県に住み、働き、学ぶ誰もが安心して日々の生活を送れるよう、災害など緊急時の支援のため、次の事業を実施した。

（ア）千葉県災害時多言語支援センターの設置・運営

大規模災害が発生した時に、日本語が十分に理解できず様々な困難に直面する外国人を支援するため、多言語での情報提供や避難所へのボランティア派遣等を行う「災害時多言語支援センター」を設置する。

令和2年12月1日に千葉県と「千葉県災害時多言語支援センターの設置・運営に関する協定」を締結している。

（イ）災害時外国人サポーター養成講座

市町村職員を対象に、災害発生時の外国人支援に関する講義や「災害時多言語支援センター」の運営などを学ぶことを通じて意識啓発を行うとともに、ネットワークづくりを図るための講座を千葉県と共催でオンライン等により開催した。

①災害時多言語支援センター運営訓練

- ・開催日：令和4年11月7日
- ・会場：幕張テクノガーデン会議室
- ・講師：高橋伸行氏ほか（多文化共生マネージャー）
- ・参加者数：30名

②印西市・白井市

- ・開催日：令和4年12月10日
- ・会場：印西市中央駅前地域交流館1号館
- ・講師：高橋伸行氏ほか（多文化共生マネージャー）
- ・参加者数：33名（ボランティア22名、外国人11名）

③袖ヶ浦市

- ・開催日：令和5年1月14日
- ・会場：袖ヶ浦市役所旧館
- ・講師：高橋伸行氏ほか（多文化共生マネージャー）
- ・参加者数：19名（ボランティア14名、外国人5名）

エ 「学校からのおたより」推進事業

日本語を母語としない児童及び保護者に日本の学校教育システムの理解を促すとともに、学校関係者と保護者の相互理解を深めることを目的として、学校システムの概要及び保護者あての連絡文書集を7か国語（言語：英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語・タイ語・ベトナム語）に翻訳した「学校からのおたより」をホームページに掲載するとともに、関係機関等と連携し、活用を推進した。

3 庶務事項

(1) 組織

ア 理事会・評議員会・監事

定款に従い、当財団の議決機関として理事会・評議員会を、予算執行等の監査機関として監事を設置している。

令和5年3月31日現在、理事12名・評議員20名・監事3名が就任している。

《理事会・評議員会の開催経過》

	開催日	内 容
第1回 理事会	令和4年5月25日	議案6件 ・令和3年度事業報告及び決算（案）について ・基本財産の指定について ・評議員の選任について ・役員の選任について ・定時評議員会(令和4年度第1回評議員会)の招集について 報告事項1件 ・代表理事、業務執行理事の職務の執行の状況の報告
第1回 評議員会 (書面開催)	令和4年6月20日	議案3件 ・令和3年度事業報告及び決算（案）について ・評議員の選任について ・役員の選任について 報告事項1件 ・基本財産の指定について
第2回 理事会 (書面開催)	令和4年6月29日	議案1件 ・業務執行理事の選定について
第3回 理事会 (書面開催)	令和4年9月20日	議案3件 ・評議員の選任について ・役員の選任について ・評議員会（令和4年度第2回評議員会）の招集について
第2回 評議員会 (書面開催)	令和4年10月14日	議案2件 ・評議員の選任について ・役員の選任について
第4回 理事会 (書面開催)	令和5年3月15日	議案2件 ・令和5年度事業計画及び予算（案）について ・令和4年度第3回評議員会の招集について

第3回 評議員会 (書面開催)	令和5年3月29日	議案1件 ・令和5年度事業計画及び予算(案)について
第5回 理事会 (書面開催)	令和5年3月29日	議案1件 ・重要な使用人の選任について

《監査の開催経過》

監 査	開催日・会場	議 題
令和3年度監査	令和4年5月17日	業務監査、会計監査

イ 賛助会員組織

(ア) 賛助会員数(令和5年3月末現在)

正会員 団体 312 個人 1 計 313

国際交流会員 団体 93 個人 428 計 521

<前年度との比較>

	令和4年度 (令和5年3月末現在)	令和3年度 (令和4年3月末現在)	増減 数
正会員	313	315	△2
団体会員(団体)	312	313	△1
個人会員(名)	1	2	△1
国際交流	521	654	△133
団体会員(団体)	93	91	+2
個人会員(名)	428	563	△135

(イ) 令和4年度新規加入賛助会員

正会員 団体5(入会順) 個人0

1	国民宿舎サンライズ九十九里
2	株式会社うまかつ部屋
3	東武トップツアーズ株式会社 千葉支店
4	一般社団法人浦安観光コンベンション協会
5	グランドニッコー東京ベイ舞浜

国際交流会員 団体3、個人10

(参考) 過去の賛助会員数の推移

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
正会員	352	315	314	315	313
団体会員(団体)	350	313	312	313	312
個人会員(名)	2	2	2	2	1
国際交流会員	800	823	733	654	521
団体会員(団体)	95	92	90	91	93
個人会員(名)	705	731	643	563	428

ウ 事務局

令和 5 年 3 月 31 日現在の事務局体制は、代表理事以下 30 名（嘱託 10 名含む）である。

（２）規程の改正

職員の就業規則及び給与規程、会員規程、経理規程等のうち、次のとおり規定改正を行った。

令和 4 年 4 月 1 日改正（施行年月日：令和 4 年 4 月 1 日）

規程等名称	主な改正内容等
就業規則	時間外命令簿及び服務整理簿の電子化により柔軟に様式を変更できるようにするため様式を削除。身元保証書の内容を一部改定。

令和 5 年 1 月 10 日改正（施行年月日：令和 5 年 1 月 10 日）

規程等名称	主な改正内容等
職員給与規程	県に準じて期末手当の支給率を改定
再雇用に関する要綱	〃

（３）事務所の移転

経費削減のため、令和 4 年 5 月 1 日に事務所の移転を行った。

- ・新事務所
所 在 地：千葉市美浜区中瀬 1-3 幕張テクノガーデンD棟 14 階
賃貸借面積：406.96 m²
- ・旧事務所
所 在 地：千葉市美浜区中瀬 2-6WBGマリブイースト 14 階
賃貸借面積：452.52 m²

※附属明細書について

補足すべき重要な事項はないので、附属明細書は作成していない。

用 語 解 説

(*1)MICE (マイス)

企業等の会議 (Meeting) , 企業等の行う報奨・研修旅行 (インセンティブ旅行) (Incentive Travel) , 国際機関・団体、学会等が行う国際会議 (Convention) , イベント、展示会・見本市 (Event/Exhibition) の頭文字のこと。多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。

(*2)国際会議観光都市

国際会議施設、宿泊施設などのハード面やコンベンションビューローなどのソフト面での体制が整備されており、コンベンションの振興に適すると認められる市町村を、市町村からの申請に基づき、観光庁長官が国際会議観光都市として認定する制度。日本全国で 53 箇所あり、千葉県では千葉市・成田市・木更津市・浦安市の 4 市

(*3)JNTO

Japan National Tourism Organization (独立行政法人 国際観光振興機構 (通称日本政府観光局)) の略。

海外における観光宣伝、外国人観光旅客に対する観光案内その他外国人観光旅客の来訪の促進に必要な業務を効率的に行うことにより、国際観光の振興を図ることを目的としている。

(*4)JNTO 基準の国際会議：次の (1)～(4) を全て満たす会議

- (1) 主催者：国際機関・国際団体 (各国支部を含む) 又は国家機関・国内団体 (各々の定義が明確ではないため「特定企業の利益を追求することを目的とした会議」の主催者を除く全てが対象)
- (2) 参加者総数：50 名以上
- (3) 参加国：日本を含み 3 か国以上
- (4) 開催期間：1 日以上

(*5)ユニークベニュー

博物館や歴史的建造物においてレセプションや会議等を開催し、特別感や地域特性を演出できる会場のこと。